

報道関係各位

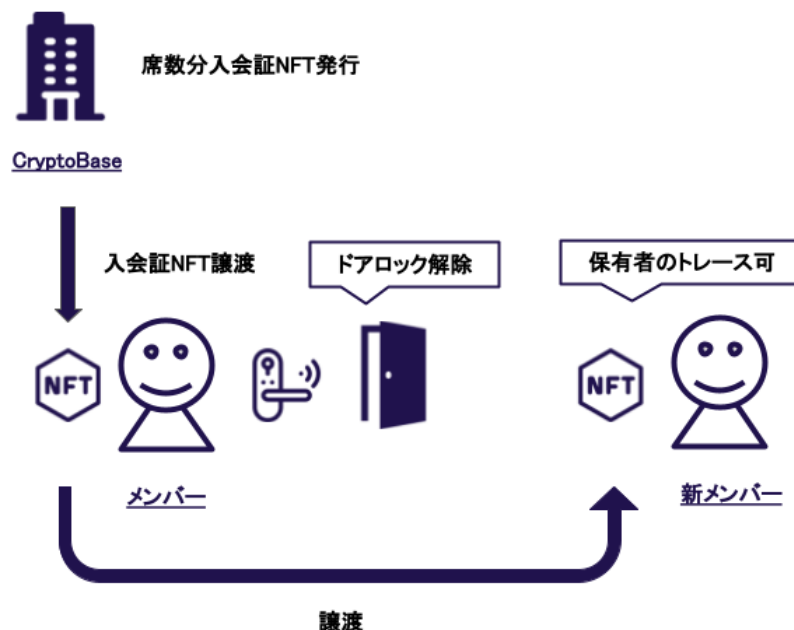
2022年9月2日  
株式会社ガイアックス

## フォトシンスとガイアックスが NFT 認証スマートロックを共同開発し、実証実験を開始

～会員証となる NFT による解錠で利用者・管理者の利便性、安全性、管理性が向上～

起業支援のスタートアップスタジオである株式会社ガイアックス(本社:東京都千代田区、代表執行役社長:上田 祐司、証券コード:3775、以下 ガイアックス)は、株式会社 Photosynth(東京都港区、代表取締役社長 河瀬 航大、以下 フォトシンス)と、API 連携を活用した NFT 認証でのスマートロック「Akerun」の解錠を可能とするソフトウェアを共同開発し、web3 特化のシェアオフィス「CryptoBase@NIB SHIBUYA」への導入を通じた実証実験を開始いたします。今後本ソフトウェアをベースに、NFT 認証 Akerun の導入を希望する企業のニーズに合わせて順次改善を行い、一層プログラムを改良させていく予定です。

当技術により、個人が保有する NFT をスマートロックの鍵として使用することが可能になります。今後オフィスに限らずリアルイベント会場への入退場時など多岐に渡る用途での展開を見込んでいます。なお、NFT 認証 Akerun のためのソフトウェアは、ガイアックスより提供する予定で、別途 Akerun の利用にはフォトシンスとの Akerun の利用契約が必要となります。



### ■ NFT 認証スマートロックの開発背景と意義

web3 の技術的な進展や利用の拡大を受けて、両社では NFT のさらなる活用例の拡大のための実証実験を行うことを目的に、今回の取り組みに至りました。本プログラムにより特定の NFT 所有者(今回のケースではシェアオフィス入居者)のみスマートロックの操作が可能になります。

従来のシェアオフィスではカード型の会員証をオフィスの入退室のための鍵として使用することが一般的でしたが、NFT 認証を活用することにより、これまでと同様のスムーズな利用体験を NFT 会員証でも実現可能になります。また、利用者同士の NFT の譲渡により、スマートロックの操作権限の移転が可能になるため、利用者登録などの物理的なセットアップが必要なくなるなど、より効率的な入退室管理が可能になります。

また、従来のカード型の会員証はセキュリティや管理上の制約などから、本人以外への譲渡や貸し借りが禁止されることが一般的でした。NFT 会員証であれば、利用者同士の同意などにより譲渡が可能になります。

今回の NFT には「会員証」としての機能とスマートロックの「解錠権」としての機能が紐付いているため、NFT 会員証を譲渡するタイミングで解錠権も同時に移行することが可能となり、運営側で解錠権限の設定変更を行う手間がなくなります。特に DAO での運用を想定した場合に、運営側のオペレーションを介さず、会員権と解錠権がプログラマブルに同時に移行できるメリットは非常に大きく、運営側の施設運営や会員管理の効率化だけでなく、利用者情報のトレースなどを通じたセキュアな施設運営が可能になります。

また、誰にでも譲渡できることにリスクを感じる場合は、会員証となる NFT の譲渡を DAO に参加する他のメンバーの投票による審査制にすることでリスクを回避するなど、NFT ならではの応用した使い方が可能になります。

今後、このような NFT などの web3 のテクノロジーの活用により、物理カードに加えて新たにシームレスで使い勝手が良く、幅広いユースケースに適用できる仕組みの創出が期待されます。

#### ■ 株式会社 Photosynth 代表取締役社長 河瀬 航大コメント



フォトシンスでは、Akerun の提供を通じてこれまでもオフィスだけでなくシェアオフィスやコワーキングスペースなどのフレキシブルオフィスにおける施設のインフラとして、利用者の安心・安全や利便性の向上だけでなく、施設運営者の運営効率化などを支援してきました。今回、web3 の技術的進展や利用拡大を受けて、API 連携を通じて新たに Akerun を NFT で認証できるようになることで、NFT の特徴を活用したスムーズな認証権限の移転やセキュアなスキームなど、認証プラットフォームとしての Akerun の活用領域がさらに拡大します。Akerun の新たな活用方法の拡大を通じて、今後もより多くの利用者、施設運営者の利便性の向上、業務効率化、そして最新テクノロジーを活用した DX の推進を支援してまいります。

#### ■ ガイアックス開発部部長 (一社)日本ブロックチェーン協会理事 峯 荒夢コメント



2015 年に Ethereum 最大のカンファレンス DEVCON1 に参加したときに、ブロックチェーンベースの Slock.it というスマートロックは存在していました。当時は暗号資産の支払いに連動して解錠の権利を得られるといった発想で作られており、ブロックチェーン上で動くワールドコンピュータを体現する一つのケースである現物を見たときの感動を今でも覚えております。それから約 8 年、NFT が会員証の役割も兼ねることが浸透してきており、ブロックチェーンを参照するだけで会員チェックできる世界観が実現できるようになりました。この会員証を使って、デジタルの世界とリアルなスペースをつなぐべく、リアルなスペースへの入室許可という重要なユースケースを担う社会的意義が非常に高いものであると考え、開発に至りました。CryptoBase への導入を踏まえ、知見を蓄積し、よりよい NFT を使った体験を提供できるようあらゆる面から web3 の普及に貢献できるよう努めてまいります。

#### ■ 製品の詳細についてのお問い合わせ

・Akerun についてはこちら

[pr@photosynth.co.jp](mailto:pr@photosynth.co.jp)

・NFT 認証プログラムについてはこちら

ガイアックス DAO コンサルティングサービス: [nftsmartlock-contact@gaiax.com](mailto:nftsmartlock-contact@gaiax.com)

## ■ Akerun について

「Akerun」は、あらゆる鍵をクラウド化し、利便性やセキュリティの向上を実現する IoT サービスです。デジタル ID と物理 ID を組み合わせてユーザーを認証するアクセス認証基盤「Akerun Access Intelligence」を活用し、あらゆる扉がインターネットにつながることで、様々な場所やシーンへのアクセス管理を実現します。

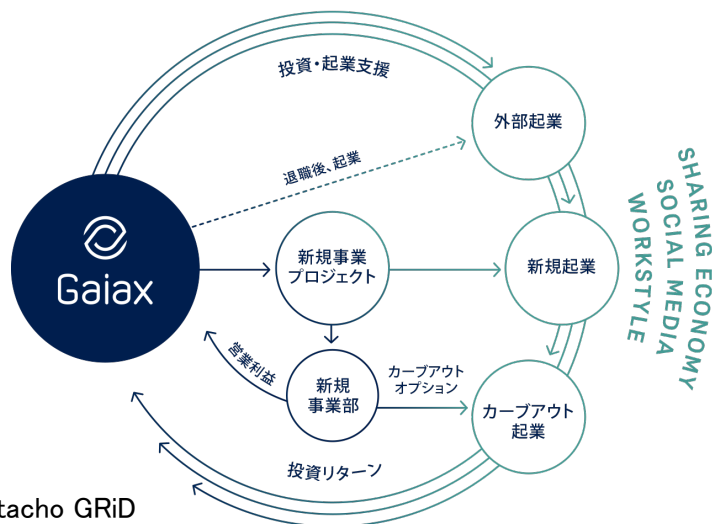
Akerun ブランドの主要サービスである法人向け「Akerun 入退室管理システム」は、既存の扉に後付けで導入できるクラウド型サービスで、スマートフォンや IC カードでの施錠・解錠に加え、Web 管理ツールやスマートフォンアプリからの入退室履歴の確認、鍵権限の付与・剥奪など、クラウドを通じた鍵の権限管理や入退室管理が可能になります。

サービスサイト: <https://akerun.com/>

## ■ ガイアックスとは: 人と人をつなげ新規事業を作り出す、個人が主役のスタートアップスタジオ※

ガイアックスは、他人のことを自分ごととして捉えられる社会を目指して「Empowering the people to connect ~人と人をつなげる」を 1999 年の創業時からミッションとしています。2015 年からはソーシャルメディアの発達により新しく生まれたシェアリングエコノミーにも取り組み始めました。個人間の情報のやり取りがより一層容易になり、ビジネスは BtoB(会社対会社)や BtoC(会社対個人)の取引だけではなく、CtoC(個人対個人)の取引がより一般的になると考えてのことです。また web3、ブロックチェーンがそれらを支える技術であると目し開発を続けてきました。これからも、ガイアックスは個人が輝く社会を目指し取り組んでいきます。

※: スタートアップスタジオとは、同時多発的に複数の企業を立ち上げる組織を指します。出資・事業開発・エンジニアリング・バックオフィスの支援を用意し、初めての起業でも成功率を高めることが可能です。



## ■ 株式会社ガイアックス 概要

設立: 1999 年 3 月

代表執行役社長: 上田 祐司

本社所在地: 東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRiD

事業内容: ソーシャルメディアサービス事業、シェアリングエコノミー事業、インキュベーション事業

URL: <https://www.gaiax.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ガイアックス 広報窓口: 高野 TEL: 03-6869-0018 MAIL: [hiroshi.takano@gaiax.com](mailto:hiroshi.takano@gaiax.com)



株式会社ガイアックス

代表執行役社長 上田 祐司  
東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRiD  
名証セントレックス コード番号: 3775  
TEL 03-6869-0018 (広報室)